

優美な山容と山野草豊富な山 御前山

実施日 2015年3月29日(日)
 天候 曇り
 リーダー 渋谷京子 SL 中村友子
 参加者 服部美千代、涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、徳山敬子、滝沢きよの、浜田優美子、児玉章 計13名
 費用 1,240円(立川起算) 590円
 タイム 奥多摩駅(8:35)境橋(8:43~8:50)栃寄(9:15)休(9:35~45)体験の森入口(10:25~40)休(11:20~25)避難小屋(12:05~10)御前山(12:25~13:00)惣岳山(13:15)休(13:50~55)サス沢山(14:15~30)奥多摩湖(15:30)

ここ数日のポカポカ陽気で東京の桜は早くも満開を迎えたが、こちらは木立に芽吹きはほんの少しだけで春の訪れはお預けのようだ。

奥多摩駅からバスで10分弱、境橋バス停は珍しく橋上の真ん中にある。奥多摩駅方面に少し戻りトンネルの手前、橋のたもとを右折して車道を暫く進む。

栃寄から本来なら栃寄沢ルートの手定だったが昨年の大雪で一部登山道崩落の為通行禁止となっている。車道とはいえ標高差1000mを越える急坂で汗がジワジワ、息を整え歩を進める。

体験の森エリアに入ると白梅の馨しい香りが鼻をくすぐる。栃寄大滝、カラマツ広場にはトイレが併設されていて、しばし休憩。

ここから漸く山道に入るが車道(体験の道)が何度か交差する。何ヶ所か通行止めのロープがあり、ここでも雪の爪跡を残している。湧水の広場から尾根筋を急登するが所々ぬかるんでいて足元に注意!! やがて勾配が緩んで避難小屋に到着。小屋は清潔でトイレも有る。

ここから僅かで湯久保尾根と大ダワからの道を合わせて尾根筋をジグザグに一登りで御前山の頂に立つ。

小広い山頂はカラマツや雑木に囲まれ

て梢越しに雲取山、六つ石山等が眺められる。ここで遅めの昼食タイム。暖かい飲み物で冷えた身体を温め



た。折々の空は、午後から雨が降るとも言われていた。集合写真を撮り終えた時、顔にポツポツ粒が当たった。

惣岳山目指して山頂を後にする。数分で展望の良い場所が有り丹沢、大菩薩、奥秩父が望める。この辺りはカタクリの群生で知られ4月中旬~5月上旬には多くのハイカーで賑わう。足元に目を向けるとカタクリの新葉が顔を覗かせている。モスグリーンに茶の模様は見落としがちだが、目をこらすとロープ越しに多数あった。手で落ち葉を除けると、細かい茎がしっかりと根付いていて感動すら覚える。大ブナ尾根の防火帯は急下降のうえ木の根や木段に足を取られ易いので集中力が必要である。

樹林越しに奥多摩湖が目に入るとサス沢山(座標なし)に辿り着く。最後の急下降に備えエネルギー補給し、景色を堪能する。私的には奥多摩3大急登に入ると思うくらいの急坂で、文献によると100分の60の斜度で30



度強の坂道とある。油断すると真逆さまに転がり落ちそうである。石や木の根の張り出しに注意しながら時に樹木を頼りにぐんぐん下ると湖畔に下り立ち、長い緊張から解放された。風が吹き付ける堰堤を渡ると奥多摩湖バス停に到着した。思えば2年越しの念願の山である。登って下りてきた御前山の雄姿を仰ぎ、喜び、安堵感、達成感に包まれた。明日から戦うであろう筋肉痛の予感と共に・

本日は雨も覚悟の山行にご参加頂き有難うございました。

次に逢いに来る時は新緑の薄紅色のカタクリの咲く頃か。

紅葉色に染まる晩秋もいいですね~また、ご一緒に!!

(記・渋谷京子)

(写真提供・涌井良明/石原勝正)